

2026年7月1日

各位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道共創パートナーズ

「北洋 SDGs 推進 3 号ファンド」を通じて、スタートアップ2先へ出資致しました

株式会社北洋銀行、株式会社北海道共創パートナーズは、Zip Infrastructure 株式会社様(本社:福島県 代表:須知 高匡様)、株式会社 JOYCLE 様(本社:東京都 代表:小柳 裕太郎様)へ「北洋 SDGs 推進 3 号ファンド(北洋 SDGs 推進 3 号投資事業有限責任組合)」を通じて出資しました。

「Zip Infrastructure 株式会社様」

同社は、自走式ロープウェイ「Zippar」の開発・製造を行うスタートアップです。低コスト・自由設計・自動運転などの特徴を有し、まちづくりに貢献する次世代交通システムとして期待されています。都市部における交通渋滞の緩和、郊外におけるバス路線廃止に伴う交通の代替手段など、地域ごとの課題に適応可能であり、北海道の幅広い交通課題の打ち手になり得ることから、このたび 3,000 万円出資しました。



「株式会社 JOYCLE 様」

同社は、「ごみを運ばず、燃やさず、資源化する」次世代の小型アップサイクルインフラサービスを展開するスタートアップです。北海道は広大な土地であり、焼却施設までの輸送費が高みやすく、ごみ処理コストの増加につながっています。このような社会課題に対し、ごみ処理コストや CO2 排出の削減に直結する同社の取り組みを高く評価し、このたび 2,000 万円出資しました。



資源と喜びが循環する社会を創造します。

JOYCLE BOXはデータとエネルギーの力で、持続可能な資源循環を現場から実現します。

● 小型・低コスト ● データを可視化 ● 輸送効率を最適化



以上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。